

地域ワークショップ

防災すごろくを
はじめるにあたって

2012年度 社団法人 札幌青年会議所
札幌コミュニティ構築委員会

本日のプログラム

1. ブリーフィング(導入)
2. すぐろくの実施・体験
3. デブリーフィング(ふりかえり)
4. 事後アンケート記入

防災すごろくの説明

- ①すごろくボード
- ②チャンスカード
- ③災害カード
- ④休日カード
- ⑤プレイヤーカード
- ⑥プレイヤーコマ
- ⑦サイコロ

防災すごろくの流れ①

- ①4人のプレーヤー＋進行役の5人でゲームを行います。
- ②順にサイコロを振り、コマを進め、止まった場所のイベントに従います。
- ③イベントは個人のイベントと皆さんで協力するイベントがあります。

防災すごろくの流れ②

- ④4人が一度ずつサイコロを振り、
コマを進めた段階で一週間とします。
- ⑤4周した時点で一ヶ月とし、
休日が初期値に戻り、給与が発生します。
- ⑥代表者に災害カードを引いてもらいます。

防災すごろくの流れ③

- ⑦災害の大きさによってペナルティ(被害)が発生します。被害の大きさはそれまでの防災の取り組みによって変わります。
- ⑧⑦までの流れが一セットとなり、これを繰り返して行います。
- ⑨回数の制限はなく、おおよそ一時間のゲーミングののち、まとめを行います。